

**公益財団法人日本バスケットボール協会**  
**平成24年度 第4回理事会 議事録**

**日 時：**平成24年6月13日(水) 13:55～16:15

**場 所：**JBAオフィス 8F会議室

**出 席：**<理事>

麻生太郎会長、深津泰彦、伊藤善文、丸尾充の各副会長、樋口隆之専務理事、伊藤信明、臼井秀明、梅野哲雄、大滝和雄、片山正明、熊谷秀樹、鈴木秀太、庄司義明、田窪徹、夏目敏、野村俊郎、萩原伸浩、橋本信雄、林直樹、原田茂、松岡憲四郎、水谷豊、吉田長寿の各理事

<監事>

植田滋、高原洋太郎の各監事

<特任委員>

阿部達也、大山妙子、小倉恭志、坂本昌彦、高橋雅弘、手塚純の各特任委員

**欠 席：**上島正光、品田奥義の各理事、西井歳晴、三木英之の各特任委員

**議 題**

- (1) 議事録について
- (2) 平成23年度事業報告について
- (3) 平成23年度決算報告について
- (4) 平成24年度補正予算について
- (5) 基本規程について
- (6) 定時評議員会について
- (7) 第2回FIBA U-17女子世界選手権大会日本代表メンバーについて
- (8) 大会要項について
- (9) コンプライアンス体制の構築について
- (10) 倫理委員会の答申について

---

**1. 定足数の報告**

松岡理事より定刻における出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(25名)の過半数の出席者(出席:23名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

---

**2. 挨拶**

麻生会長より開会の挨拶があった。

尚、三笠宮寛仁さまの葬儀ため、途中退席となることが報告された。

---

### 3. 議事

定款に基づき、議長は会長が務め、会長の指名により深津副会長が会議の進行を行った。

(1) 議事録について（深津副会長）

平成24年度第3回理事会(5月26日開催)議事録について、原案通り承認された。

<承認>

(2) 平成23年度事業報告について（樋口専務理事）

平成23年度事業報告について、事業報告書ならびに事業報告の附属明細書に基づき各事業の概要が説明され、原案通り承認された。

<承認>

(3) 平成23年度決算報告について（松岡理事）

平成23年度の決算概要について、収入面では、国内大会、国際大会での協賛金収入等の減により予算比20,442千円減、支出面では、強化部門等の支出減があったが、オフィス移転による当初予算外の支出があり、予算比4,265千円増、この結果、当期合計収支は予算比マイナス24,707千円となり、前期繰越金との相殺後の次期繰越金は430,503千円となったことが報告され、承認された。尚、本内容にて次回評議員会に付議されることとなった。

<承認>

(4) 平成24年度補正予算について（吉田理事、松岡理事）

「バスケットボールファミリーの拡大＝普及」、「競技力向上＝日本代表の強化」というJBAとしての命題に取り組むための今後の事業戦略が説明され、具体的な施策として、①登録者向けサービス事業の展開、②普及事業の推進、③国際競技会の国内開催、④都道府県協会・連盟の活性化事業の推進が挙げられた。これらを実行するため、ゼビオグループとのエグゼクティブパートナー契約に基づいた補正予算が提案され、収支同額の263,000千円を追加計上することが承認された。尚、本内容にて次回評議員会に付議されることとなった。また、関連して、FIBAの3×3(スリーバイスリー)についての基本方針およびJBAとしての今後の取り組みの内容が報告された。

<承認>

(5) 基本規程について（樋口専務理事、吉田理事）

3月11日の理事会、評議員会に提案し、その後説明会などでの意見、要望等を受けて修正された基本規程が提案され、原案通り承認された。また、あわせて「評議員選定委員会運営規則」についても原案通り承認された。

さらに、評議員から代表者による会議として評議員連絡協議会を立ち上げたいという意向があることが報告され、まだ提案を受けて間もないこと、目的、位置付け等議論する余地があること、また、ブロック協会の役割等も含めて検討が必要であることから、きちんと協議した上で改めて提案することとされた。

<承認>

(6) 定時評議員会について（松岡理事）

「平成23年度決算報告」、「平成24年度補正予算」、「基本規程」、「名誉顧問、顧問、参与」、「役員選任」についての決議を目的とし、6月23日(土)13時より、JBAオフィスにて定時評議員会を開催することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(7) 第2回FIBA U-17女子世界選手権大会日本代表メンバーについて（高橋特任委員）

2011年の「第2回FIBA ASIA U-16女子選手権大会」で優勝し、出場権を獲得した「第2回FIBA U-17女子世界選手権大会」について、本大会に派遣する日本代表チームスタッフ8名、選手12名が提案され、原案通り承認された。尚、チームリーダーについては現在選考中であることが補足された。

<承認>

(8) 大会要項について（庄司理事）

本年度に開催する下記2大会の大会要項が提案され、原案通り承認された。

- ・第42回全国中学校バスケットボール大会
- ・「東日本大震災」被災地復興支援 第8回全日本社会人バスケットボール選手権大会  
兼 第88回天皇杯・第79回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会予選

<承認>

(9) コンプライアンス体制の構築について（樋口専務理事）

5月26日の理事会において設置の方向が認められたコンプライアンス委員会(仮称)について、コンプライアンス体制の確立のため、コンプライアンス委員会(仮称)を設置することおよびその構成メンバーが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(10) 倫理委員会の答申について（樋口専務理事）

bjリーグで起こった選手の万引き行為および薬物問題の2件の不祥事について協議するために開かれた倫理委員会より、チーム・選手を統括・管理する立場であるbjリーグに対し、厳重注意の通達を行うという答申が出され、原案通り承認された。

<承認>

---

#### 4. 報告事項

(1) 一般報告（松岡理事）

2012年5月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) JBL（鈴木理事）

2011-2012シーズンの事業報告ならび決算が報告された。また、6月より新リーグ準備室に加わった山谷氏がJBLの理事を退任したことも報告された。

(3) **総務部**（松岡理事）

6月23日の第5回理事会、定時評議員会、および7月の理事会の予定が報告された。

(4) **企画事業部**（吉田理事）

7月1日に開催する男子日本代表戦の開催概要、BWB(バスケットボール・ウィズアウト・ボーダーズ)アジア2012の開催概要が報告された。また、7月28日、29日に広島で開催されるJBA3×3において、参加チームを確保するため、一般公募を行うことが報告された。

(5) **競技運営部**（庄司理事、坂本特任委員）

「日韓ママさん親善大会」、「李相佰杯争奪日韓学生競技大会」、「女子日本代表国際親善試合」、「車椅子ツイン選手権大会」の結果および「全国ママさん交歓大会」の組合せが報告された。

また、全国ミニ大会のチーム構成学校数の制限について、日本ミニ連盟においてより現状に即した見直しが行われたことが報告された。

さらに、デフリンピックアジア・太平洋地域予選会が開催され、男子日本代表が2013年デフリンピックの出場権を獲得したことが報告された。(尚、女子日本代表は予選参加国が少ないため、予選なしでのデフリンピック出場が決定。)

(6) **国体部**（梅野理事）

少年種別のU-16化(高1+中3の構成)への変更について、6月10日に各ブロックの代表者等を招集して国体検討委員会を開催し検討を行ったこと、また、更に委員会にて検討を重ねることとなったことが報告された。

(7) **審判・規則部**（橋本理事）

審判員の海外派遣の予定等が報告された。また、FIBAより2012年10月1日に施行する競技規則として「Official Basketball Rules 2012」の通達があったことが報告された。尚、大きな変更点ではないこと、日本国内では2013年4月1日以降に採用の予定であることが補足された。

(8) **男子強化部**（萩原理事）

男子日本代表の候補選手20名について、リンク栃木ブレックスの川村選手が怪我のため、今年度の日本代表候補から外れたこと、U-18日本代表チームについて、FIBA ASIA U-18選手権大会と日・韓・中ジュニア交流競技会の日程が重なることから、40名を候補選手として強化合宿を行い、それぞれの派遣メンバーを選考することが報告された。また、ジュニアエリートアカデミー(ビッグマン)について、6月10日に公募の締め切りを行い、8月の実施に向けてメンバーの選考を行う予定であることが報告された。

(9) **女子強化部**（高橋特任委員）

FIBA ASIA U-18選手権大会に向けて強化を図っているU-18日本代表チームの第2次強化合宿参加選手20名が報告された。また、今回よりアシスタントコーチに山形市立商業高校の高橋仁氏が加わったことが補足された。

(10) 国際部（水谷理事）

5月26日、27日に行われたFIBA ASIA 3×3特別委員会、28日に行われたFIBA ASIA中期総会の概要が報告された。

以上